

2017障がい者セーリングチャレンジ東京 体験乗船会 (東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所)

2017障がい者セーリングチャレンジ東京【共同主催:東京都ヨット連盟・NP0 法人マリンプレイス東京、協力:日本セーリング連盟(障がい者セーリング推進委員会)・若洲シーサイドパークグループ・東京都障害者セーリング連盟・日本視覚障害者セーリング協会・日本ハンザクラス協会・セイラビリティ東京(若洲)】が、東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所において9月23日に開催された。

NP0 法人マリンプレイス東京では、障がい者セーリングを日々応援・実施している団体と協力し、障がいを持たれ海に出る機会がない方々に自然と親しめるスポーツとしてヨットを体験していただくために、楽しくヨットに乗れる企画をつくった。

今回の体験乗船会には2017年キールパラワールド参加選手、2004年アテネパラリンピックヨット競技の日本代表選手を含め総勢30人(9名の障がい者含む)を超える参加があった。

当日は午前9時過ぎから雨も上がり、風も丁度良いコンディションで楽しめた。使用したハンザ2.3ヨットは全長2.3m、2人乗りでハンモックのような布製シートに前向き座り、舵はジョイスティックで微力で操作できる。20kgのセンターボードを下ろし、着席すればひっくり返る事がほとんどない船型、ヨット未経験者や障がい者も手軽に楽しめ日本各地でも広く普及している。

マリンプレイス東京で管理しているハンザ2.3を4艇用意し9名を2組に分け、若洲ヨット訓練所前面海域にて午前10時過ぎからセーリングをスタート。障がい者セーリングに取り組む各団体のサポーターのお手伝いでバリアフリー棧橋から乗船し2時間程セーリングを楽しんだ。昼食後、午後1時からレース形式でのセーリングを実施。スタートラインから上マークを2周回るコースを2度行い、2組共にスタートから白熱したセーリングを展開し楽しんだ。途中、舵が利かない艇もあり、用意したレスキュー艇に救助され無事に2レースを終了。陸からの応援者、サポーター、ヨット乗船者の皆さんが、体験乗船会を大いに楽しんだ。

主催団体の東京都ヨット連盟・NP0 法人マリンプレイス東京では、今後もこのような体験乗船会を年複数回実施していく予定。若洲で施設のバリアフリー化を促進、機材の充実を進め誰もが楽しめる環境を作りこの活動が継続されることを期待したい。



Report by 佐藤公俊